

2023年10月6日

## ウッドデザイン東京檜原村視察報告

一般社団法人日本ウッドデザイン協会  
事務局

### 【開催概要】

内 容:東京檜原村におけるウッドデザイン賞受賞作品他の視察

日 程:2023年9月29日(金)

主な視察先:MOKKI NO MORI、檜原森のおもちゃ美術館、中嶋木材店

参加者:20名(日本ウッドデザイン協会員17名、事務局3名)

企画運営:広報普及啓発部会、ウッドデザイン賞部会、ビジネスマッチング部会

### 【スケジュール】

月 日	時 間	旅 程
9月29日		
	9:30	武蔵五日市駅集合
	10:30~11:40	MOKKI NO MORI視察 説明付き視察
	13:00~14:20	東京チェンソーズ様の取組みについて
	14:30~15:30	檜原森のおもちゃ美術館視察 説明付き視察
	16:00~17:00	中嶋木材店様 工場視察 説明付き視察
	17:10	武蔵五日市駅解散

### 【集合場所:武蔵五日市駅】

2016年にコンコースを木質化。「雄大な自然と渓谷の街の拠点駅」をコンセプトに、多摩産木材を天井、壁の仕上げ材に使用している。





### 【視察先】

1. MOKKI NO MORI(東京チェーンソーズの社有林) <https://mokki.jp/>  
東京チェーンソーズの社有林・施業地を活用した会員制のアウトドア森林フィールド「MOKKI NO MORI」(モッキノモリ)を東京チェーンソーズの吉田尚樹さんに案内いただいた。

#### MOKKI NO MORI

東京チェーンソーズが整備した4箇所約 45ha の広大なフィールドを利用できるサブスク型会員サービス。ファミリー会員:年会費 132,000 円



👉 スギやヒノキの人工林やナラなどの広葉樹の薪炭林が立ち並ぶ山林

7、8割が針葉樹とのこと



#### 「一本まるごと」

👉 樹齢 60 年のスギは、一本 3,000 円程度と安価なため、普通では使わない小枝、根っこ等、木のすべてを活かした加工・販売を行っている

「違う切り口」で、木の価値をつけていく

👉 山道は、東京チェンソーズさんが、  
山を切り拓いて作ったもの

山道を作る際、斜面が崩れないよう、  
水を流す場所等に、気を付けたとのこと



👉 自然に落ちる種子を調査中  
(東京農工大学さんの研究)

山中にあるウッドデッキ👉



👉 ウッドデッキの下には、会員が、  
年毎に植樹したスギの木が並んで  
いる。30年かけて育てていく。



👉 「風の縄文トイレ」は、インフラフリー

排泄物を土に還すため、落ち葉や腐葉土、炭などを設置しているため、臭いもしない。  
山の中で、トイレに困らない。

👉 会員専用の「森のラウンジ」は、多目的に使える。



👉 壁が扉になっており、開いて屋根にすることが出来る

👉 森のラウンジの横には、木のトイレも完備



2. 東京チェーンソーズさんの取組みをご紹介いただいた。(会場: 檜原村福祉センター)

東京チェーンソーズのウッドデザイン賞受賞歴

「山男のガチャ」2021年優秀賞(林野庁長官賞)受賞作品

「森への入り口をお届けします～森デリバリー～」2022年優秀賞(林野庁長官賞)受賞作品

現在、約50～60年といわれる木材の収穫のタイミングとなっている。

枝や曲がった部分など木の約50%が廃材となるが、その部分を使用して「山男のガチャ」



を作ったとのこと。また、加工した木のパーツを移動販売する「森デリバリー」の販売サービスも考案。色々なデザイナーの方と打ち合わせしながら、端材等をうまく製品などで使える仕組みを考えている。また、社有林の「MOKKI NO MORI」では、サブスク会員として、広大なフィールドを利用できるほか、ワークショップ等も開催されている。

### 3. 檜原 森のおもちゃ美術館 <https://www.hinohara-toymuseum.com/>

2022 年受賞作品

檜原村は東京都でありながら豊かな森の中にある。施設は子供の頃から木に親しんでもらう事を目的とし、おもちゃや遊びを通して檜原の魅力を伝え、多世代交流を楽しむ体験型の美術館となっている。また建物に使用している木材(構造材、内外装材)は全て檜原産材を活用し、持続可能な森林育成に貢献する事も目的としている。

館長に案内いただいた。



👉館内は、テーマごとに区切られ、～2歳までの部屋もあり、親も安心して子供を遊ばせることができる。



👉檜原村の地形をイメージして作られている。ボルダリングスペースや檜原産材のヒノキで作ったたまごプール。野菜や果物の収穫遊びも出来る。

#### 4. 檜原村 おもちゃ工房

おもちゃ美術館に隣接する工房

曲がった枝、節が抜けた穴、根っこなど、普通は使わない部分をおもちゃに加工している。



👉 円柱のおもちゃを作成するため木を丸く削っている

#### 5. 中嶋材木店 <http://www.gws.ne.jp/kigokoro/>

都内で唯一の製材 JAS 認定工場(造作製材、下地製材)、ツインバンドソーの製材機械と 3 台の乾燥機を保有。創業昭和 30 年。販売している材料の 7 割が公共建築物用の内装、外装、下地、造作材。構造材はグレーディングマシーンで性能表示(含水率・ヤング係数)が可能。既製品は大きな製材所に任せ、中嶋材木店では受注生産品に対応できる体制を整えている。

👉 自然乾燥中。最初から、四面にスリットを入れておき、割れを軽減させる



👉 製材中



👉 プレカット



以 上